調査票	令和06年度

施設カルテ

施設番号：323　　施設名：別府市湯山コミュニティセンター

施設の概要

所在地	大字野田字天神原953番1	運営形態	その他				
所属課	総務課	年間運営日数（日）	20.00				
利用圏域	地域	運営時間※1	開館		閉館		
コミュニテイ区分	朝日・大平山	運営人員（人）※2	正職員		任用職員		
施設用途	市民文化系施設		その他				
中分類	集会施設	指定管理者・委託者等	十文字原演習場周辺西部地区整備対策協会（長期独占利用）				
設置目的	十文字原演習場周辺地域住民等の福祉増進に供することを目的に設置。議会の議決により、令和13年度まで十文字原演習場周辺西部地区整備対策協会へ無償で長期かつ独占利用を許可	防災拠点施設指定	指定なし				
		最寄りの類似施設	施設名		距離（m）		
設置条例	別府市湯山コミュニティセンター設置及び管理に関する条例	外観					
施設の現況	開設年月日：S56.6.30／主な利用者：地域住民／用途地域：市街化調整区域／標高：390／駐車可能台数：6						
建設費（円）	27,030,000						
取得価額等（円）	20,684,700						
補助金額（円）							
減価償却累計額（円）	19,567,709						
老朽化比率	94.60%						
施設概要	危険区域等の有無：土砂／噴火（鶴見岳）（伽藍岳） 避難所の指定：【一時】津波／地震／洪水／高潮						

土地情報

敷地面積（㎡）	2,417.00
所有区分	公有

建物状況

名称	構造	階数	建築面積（㎡）	延床面積（㎡）	建築年月日	法定耐用年数	老朽化状況※3	新耐震基準※4	耐震化状況	バリアフリー状況
別府市湯山コミュニティセンター	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	2		153.22	1981/06/30(築43年)	47	老朽化が進行している	×	対策が必要	全く対応していない

スペース構成の状況

名称	利用料収入（円/年）	延床面積(㎡)	年間利用者数（人/年）	利用目的別 利用者内訳（人/年）					利用状況	稼働率(%)	備考
				主催事業	サークル	地域利用	官庁利用	一般利用			

※1：24時間の場合は0:00～23:59と表記している

※2：業務時間の割合で按分を行った場合は、小数点で表示している

※3：稼働年数が耐用年数の
1/3未満　：問題なし
1/3以上2/3未満：老朽化対策の検討が必要
2/3以上　：老朽化が進行している

※4：1981年6月1日以降に建築確認を受けたものを〇とする

調査票	令和06年度

施設カルテ

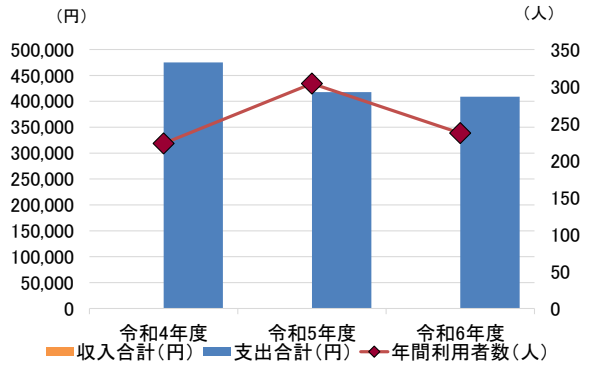
施設番号：323　　施設名：別府市湯山コミュニティセンター

収入の状況	項目		令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
	収入	施設使用料収入	0	0	0
		財産貸付料収入・目的外使用料収入	0	0	0
		負担金	0	0	0
		その他の収入	0	0	0
	収入合計(円)		0	0	0

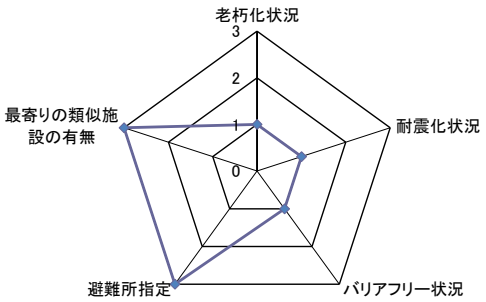
支出の状況	項目		令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
	直営_人に係る支出	人件費	0	0	0
	直営_施設に係る支出	光熱水費	0	0	0
		工事請負費・修繕料	93,500	35,200	26,400
		土地・建物の賃借料	0	0	0
		土地・建物以外のリース料	0	0	0
		施設・設備管理委託料	0	0	0
		施設に係る_その他	380,000	380,400	380,400
	直営_事業運営に係る支出	事業委託費	0	0	0
		事業物件費(需用費・役務費等)	1,712	2,039	2,039
		事業運営に係る_その他	0	0	0
	指定管理料	指定管理料	0	0	0
	支出合計(円)		475,212	417,639	408,839
	利用者1人あたりのコスト(円/人)		2,131	1,374	1,725
	1㎡あたりのコスト(円/㎡)		3,102	2,726	2,668
	稼働日あたりのコスト(円/日)		22,629	14,401	20,442
	支出に対する収入の割合		0.00%	0.00%	0.00%
	減価償却費(円)		455,063	455,063	455,063
	減価償却費を含む支出合計(円)		930,275	872,702	863,902
	減価償却費を含む支出に対する収入の割合		0.00%	0.00%	0.00%

利用状況	項目	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
	利用者	223	304	237
	年間利用者数(人)	223	304	237

収支と利用者数の推移



レーダーチャート



老朽化状況についての判断方法	建物状況の老朽化状況により点数の決定を行い、 平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『問題なし:3点』 『老朽化対策の検討が必要:2点』 『老朽化が進行している:1点』 『未登録:0点』
耐震化状況についての判断方法	新耐震基準が「○」の場合は3点とし、 それ以外の場合は建物状況の耐震化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『耐震化状況　実施済:3点』 『耐震化対策中:2点』 『耐震化対策が必要:1点』 『未登録:0点』
バリアフリー状況についての判断方法	建物状況のバリアフリー状況により点数の決定を行い、 平均値を施設の得点とする。(小数点以下四捨五入) 『全対応:3点』 『一部対応:2点』 『未対応:1点』 『未登録:0点』
避難所指定についての判断方法	避難所指定の建物がある場合は3点とし、 ない場合は1点とする。
最寄りの類似施設の有無についての判断方法	最寄りの類似施設がない場合は3点とし、 ある場合は1点とする。